

上下水道局

上水道課

課長 藤牧 靖次

事務事業評価票

事務事業名	小水力発電事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	水道事業
予算中事業名	小水力発電事業

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28 ~ R1

再生可能エネルギーの雇用創出として、上水道施設の高低差を利用し、小水力発電を行い、温室効果ガスの1つであるCO2を削減し、低炭素社会の推進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 発電施設 利用水量 約0.146 m3/s 水車 フランス水車 有効落差 松塩水道用水本山浄水場~寿配水地 約66.1m 管種口径 ダクタイル鋳鉄管、口径400mm
2 発電規模 発電出力 約74kw(稼働率95%) 想定発電量 約600,000kwh/年 売電費 約20,400千円/年(34円/kwh:税別) 温室効果ガス削減量 約300t-CO2/年
3 総事業費 195,370千円
4 令和元年度の実績 繰越工事費 30,326,400円(総契約額 195,298,000円) 中部電力と系統連系契約 353,578円 中部電力と特定契約の締結 発電開始式(式典費 291,600円)
5 今後 令和2年度から安定した発電により売電 他の水道施設における小水力発電や超マイクロ小水力発電(100mm以下の小口径)可能性について、プロジェクトチームで調査研究を開始

< 現状に対する認識 >

水道施設を使った、再生エネルギーの導入が環境負荷に寄与しているとの認識
 安定した発電を継続維持する。
 電力事業者、県企業局(松塩水道)と協議を進め、プロジェクトチームでは、多視点の意見集約を図りたい。

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み			省エネ推進と小水力やバイオマスなどの活用
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由	令和元年度事業完了				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		4,968		159,430		30,972		-	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			4,968		159,430		30,972			
人件費(千円)	15,380	人工	22,770	人工	15,100	人工	7,600	人工		人工
正規	15,380	2	22,770	3	15,100	2	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	15,380		27,738		174,530		38,572		-	
前年度比	-		180.4%		629.2%		22.1%		-	

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	水質検査事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	水道事業会計
予算中事業名	水質検査事業

<事業の狙い>

事業計画年度

~

安全・安心でおいしい水を安定供給するため、計画に基づき水質検査を高い精度で確実に実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 法定検査
常に安全で良質な水道水を供給するため、法令・指針等で定められた水質検査を計画に基づき実施するとともに、検査の精度と信頼性を確保します。
- 放射性物質濃度検査
次世代を担う子どもたちにも影響する水道水中の放射性物質濃度の検査を継続して行い、放射性物質の拡散による水道水への影響と安全性を確認します。
- 令和元年度実績
水質基準全51項目の水質検査を直営で計画通り実施し、法令で定められている基準に適合していることを確認した。
・毎日検査 39カ所において1日1回(色、濁り、消毒の残留効果)
・給水栓水水質検査 36カ所において年1~12回(水質基準51項目、水質管理目標設定項目等)
・原水水質検査 39カ所において年1~12回(水質基準51項目、クリプトスポリジウム等)
放射性物質濃度検査を6地区の浄水(原水)について定期的に行い、全て検出下限値以下であることを確認した。
・放射性物質濃度検査 6カ所において年12回(セシウム134及び137)

<現状に対する認識>

水道水質基準全51項目を直営検査で継続し、水質検査の精度と信頼性を恒久的に確保・維持する。
福島第一原発の現状と本市の水道水中から過去に放射性物質が検出されていない状況から、検査の効果と事業費等を総合的に判断し、段階的に検査頻度を縮小する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	水道水質基準直営検査項目数				
指標の設定理由	水道法の水質基準項目について、直営検査の状況を確認できる指標のため				
目標値	47	47	51	51	51
実績値	47	47	51	51	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	放射性物質濃度検査地点別回数(年間)				
指標の設定理由	放射性物質の観測状況を確認できる指標のため				
目標値	12	12	12	12	4
実績値	12	12	12	12	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,059		7,675		3,156		3,229		2,890	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,059		7,675		3,156		3,229		2,890	
人件費(千円)	25,920	人工	25,920	人工	28,770	人工	28,760	人工		人工
正規	23,070	3	23,070	3	23,070	3	22,800	3		
嘱託	2,850	1	2,850	1	5,700	2	5,960	2		
合計コスト +	32,979		33,595		31,926		31,989		31,660	
前年度比	-		101.9%		95.0%		100.2%		-	

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	水道施設耐震化事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >	
会計名	水道事業会計
予算中事業名	水道施設耐震化事業

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたぐなくまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >	事業計画年度	H25 ~ R12
大規模地震が発生した場合に備え、水道施設への被害を最小限に抑えるとともに、被災時に水道水が早期に供給できるよう、市街地の主要な水道施設について耐震化整備を行うもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
水道施設耐震化事業(松本地区)
1 基幹施設耐震化(水源地・配水地) 自己水源施設2カ所、配水地等15カ所の耐震化(島内第1、第2水源、城山、蟻ヶ崎、並柳第1、第2、藤井、寿、茶臼、岡田第2配水地、藤井減圧槽、神林、大久保、今井第1、第2、松原、妙義、)
2 基幹管路耐震化 配水本管及び重要送水管 L=7.0km
3 平成30年度実績 並柳第2配水地の配水池耐震補強(H30~R元) 中心市街地の配水本管 L=866m(宮淵、新橋、桐、旭)
4 令和元年度実績 並柳第2配水地、藤井配水地の耐震補強(5/17施設) 中心市街地の配水本管 L=506m(旭、北深志、宮淵、新橋) 3,209m/6,962m
5 松本市全体の耐震化率(令和元年度末現在) 配水池(容量) 46.9% (39,100m ³ /83,314m ³) 基幹管路 37.7% (61,101m/162,184m)

< 現状に対する認識 >
災害に強い水道施設の整備を進めるため、既存施設の耐震性を調査し、効率的かつ経済性を考慮した耐震化、延命化を進める。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業進捗率(耐震済配水池容量)(%)				
指標の設定理由	主要配水地の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	17.6	17.6	17.6	29.4	29.4
実績値	17.6	17.6	17.6	29.4	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	事業進捗率(延長)(%)				
指標の設定理由	基幹管路の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	17.8	26.3	38.6	46.2	59.2
実績値	17.8	26.3	38.6	46.1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	-

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	779,680	190,586	526,509	445,669	577,420					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	779,680	190,586	526,509	445,669	577,420					
人件費(千円)	46,140	人工 30,760	人工 38,450	人工 38,450	人工					
正規	46,140	6	30,760	4	38,450	5	38,450	5		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト +	867,230	221,346	564,959	484,119	615,870					
前年度比	-	23.7%	255.2%	85.7%	-					

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	老朽給水管取替事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたぐなくまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給		5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	水道事業
予算中事業名	老朽給水管取替事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20 ~ R28

安全・安心でおいしい水を安定供給するため、老朽給水管を計画的に更新する。
また、老朽給水管の漏水を防止し、水道水を有効利用する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

老朽給水管取替事業	
1	漏水調査に基づき漏水量の多い配水区を中心に、平成20年度から給水管約40,800栓の取り替えを行う。
2	平成30年度までの実績 直管 40栓 (平成29年度から) 業務委託 5,932栓 工事 382栓 他事業関連 2,738栓 取替合計 9,092栓
3	令和元年度実績 直管 24栓 業務委託 833栓 工事 139栓 他事業関連 30栓 取替合計 1,026栓
3	全体の取替率 24.8% (10,118栓 / 40,845栓)

取り替えには多額の費用と期間を要するため、経営状況を見極めながら計画的に進める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	老朽給水管取替事業				
指標の設定理由	漏水の可能性のある老朽給水管を取り替えるもの				
目標値	900	1000	1000	1000	1000
実績値	816	1042	1310	1020	
達成度	90.7%	104.2%	131.0%	102.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	119,988		149,904		179,820		178,030		200,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	119,988		149,904		179,820		178,030		200,000	
人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15100	人工	15200	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15100	2	15200	2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	135,368		165,084		194,920		193,230		215,200	
前年度比	-		122.0%		118.1%		99.1%		-	

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	老朽配水管改良事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	水道事業会計
予算中事業名	老朽配水管改良工事

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～R10

安心して飲める安全な水を確保するため、中心市街地に残る老朽化した配水管を計画的に更新するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽配水管改良事業

1 事業概要

老朽配水管(普通鋳鉄管:CIP)の改良工事をH28から耐震化事業などの他事業と並行し実施します。

2 平成30年度事業実績

中心市街地の老朽配水管改良 L=980m(女鳥羽川、蟻ヶ崎)
実施設計業務委託(村井駅北:笹賀踏切)L=80m

3 令和元年度事業実績

中心市街地等の老朽配水管改良 L=380m(女鳥羽川、村井駅北)
実施設計業務委託(開智3丁目)L=800m

4 普通鋳鉄管取替率(令和元年度末現在)

75.3%(44,420m/59,000m)

<現状に対する認識>

住宅や商店が多数混在し、交通量の多い路線での工事となるため、広報活動などで沿線住民への周知を行い、他の道路占有者と協議を行いながら、計画的に改良工事を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	老朽配水管(普通鋳鉄管CIP)の全体延長				
指標の設定理由	耐震化事業等と平行して行うことから、本事業のみの目標値は定められな				
目標値(m)					
実績値	42,571	43,060	43,582	44,420	
達成度	72.2%	73.0%	73.9%	75.3%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	56,840	14,796	111,705	182,314	174,515
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	56,840	14,796	111,705	182,314	174,515
人件費(千円)	7,690	7,690	23,070	15,380	
正規	7,690	1	7,690	1	23,070
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	64,530	22,486	134,775	197,694	174,515
前年度比	-	34.8%	599.4%	146.7%	-

下水道課

課長 矢野 伸

事務事業評価票

事務事業名	下水道処理場長寿命化事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H24 ~
--------	-------

老朽化した設備の改築・更新を計画的に実施し、ライフラインを確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 長寿命化計画
浄化センター内施設を施設単位で老朽化、劣化度の判定を行い、ライフサイクルコストの最小化、費用の平準化を図りながら、施設の健全性を保持するもの
- ストックマネジメント計画
(1) R2より国の支援制度が長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行するため、H29にストックマネジメント全体計画を策定し、全体事業費の見直しを実施
(2) R1に詳細調査を実施し、5カ年の第1期ストックマネジメント実施計画を策定
- 事業実施内容
(1) 宮渚浄化センター改築事業
低段水処理施設・汚泥処理施設・管理棟・ポンプ場機械電気設備改築
(2) 両島浄化センター改築事業
中央監視設備・汚泥処理施設・管理棟・機械電気設備改築

< 現状に対する認識 >

老朽化した施設の改築更新は喫緊の課題であるが、経営状況から優先順位を決めて効率的に計画を実施している。

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価	A
--	------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	宮渚浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	機械設備の改築のため事業費ベースの指標が適切なため				
目標値	35.7%	36.2%	38.5%	42.7%	50.5%
実績値	35.7%	36.2%	37.3%	40.7%	
達成度	100.0%	100.0%	96.9%	95.3%	-
成果指標(指標名)	両島浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	機械設備の改築のため事業費ベースの指標が適切なため				
目標値	3.9%	14.7%	28.3%	29.4%	29.6%
実績値	3.9%	14.7%	20.7%	29.8%	
達成度	100.0%	100.0%	73.1%	101.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	290,850	522,380	368,464	691,914	615,870					
国・県	157,450	270,000	200,042	362,402	327,571					
利用者負担金										
その他	115,700	229,100	138,000	260,100	223,300					
一般財源	17,700	23,280	30,422	69,412	64,999					
人件費(千円)	12,304	12,144	16,610	16,720						
正規	12,304	1.6	12,144	1.6	16,610	2.2	16,720	2.2		2.2
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	303,154	534,524	385,074	708,634	632,788					
前年度比	-	176.3%	72.0%	184.0%	-					

事務事業評価票

事務事業名	下水道総合地震対策事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助・単独改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20～

地震災害時に施設の被害を抑制し、ライフラインを確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 計画策定 R1に第3期松本市下水道総合地震対策計画(R2～R6)を策定
2 管渠 管渠耐震化、マンホールの改築、接続部の可とう化、浮上防止対策を実施
3 浄化センター ・宮渕浄化センター 管理棟耐震工事(H24～H26)を実施 H30 水処理施設の耐震設計を実施 R1より工事着手。今後汚泥処理棟の耐震化に着手 ・両島浄化センター 管理棟耐震工事(H30～R1)を実施。R2より汚泥処理棟耐震工事を実施 ・渚中継ポンプ場 耐震工事完了済 ・波田処理場はH30耐震診断に着手 ・四賀、上高地の処理場については、今年度より耐震診断に着手

・老朽施設の改築更新が優先であるが、あわせて耐震工事も実施していく。 ・下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震工事を着実に実施していく。
--

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み			震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	管渠施設の耐震化(整備延長37.1km)				
指標の設定理由	下水道総合地震対策計画によるもの(累計数値)				
目標値	4.8	4.9	5.5	6.2	7.3
実績値	4.8	5.3	5.5	5.7	
達成度	100.0%	108.2%	100.0%	91.9%	
成果指標(指標名)	浄化センター耐震化(総延床面積75,751㎡)				
指標の設定理由	下水道総合地震対策計画によるもの(累計数値)				
目標値	0	6,775	7,937	10,660	10,660
実績値	0	6,775	7,448	7,937	
達成度	-	100.0%	93.8%	74.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		0		0		0	
国・県	0		0		0		0		0	
利用者負担金										
その他	0		0		0		0		0	
一般財源	0		0		0		0		0	
人件費(千円)	8459	人工	8459	人工	12835	人工	12,920	人工		人工
正規	8,459	1.1	8459	1.1	12835	1.7	12920	1.7		1.7
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	8,459		8,459		12,835		12,920		0	
前年度比	-		100.0%		151.7%		100.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	管渠長寿命化事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助・単独改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H21 ~
老朽化した管渠を計画的に改築するもの	

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

- 長寿命化計画
 布設後30年以上経過した下水道管渠を対象とした、劣化度調査に基づき、管渠を整備するもの。
- ストックマネジメント計画
 (1) R2より国の支援制度が長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行するため、H29にストックマネジメント全体計画を策定し、全体事業費の見直しを実施
 (2) R1に管路施設の点検、調査を実施し、5カ年の第1期ストックマネジメント実施計画を策定
- 事業実施内容
 管渠改築、マンホールポンプ場改築

< 現状に対する認識 >

老朽化した施設の改築更新は喫緊の課題であるが、経営状況から優先順位を決めて効率的に計画を実施している。

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価		A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	改築工事延長(km)				
指標の設定理由	長寿命化計画によるもの(累計数値)				
目標値		16.1	17.5	19.0	21.0
実績値	13.1	15.8	17.4	19.0	
達成度	-	98.1%	99.4%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	71,960	314,725	481,175	193,236	633,480
国・県	35,980	157,362	210,123	67,960	255,040
利用者負担金					
その他	32,300	141,365	243,946	115,614	346,766
一般財源	3,680	15,998	27,106	9,662	31,674
人件費(千円)	7,690	7,590	12,080	12,160	
正規	7,690	7,590	12,080	12,160	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	79,650	322,315	493,255	205,396	645,784
前年度比	-	404.7%	153.0%	41.6%	-

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	水質監視業務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	水質規制費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

下水道施設の適正な維持管理及び浄化センターからの良好な放流水の水質維持を目的として、下水道における適切な水質管理を行うため、水質監視を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 事業場排水の水質監視
事業場下水排水を下水道排除基準に適合させるための、監視と指導
- 2 主要幹線の水質監視
継続して主要幹線の水質を監視
異常が確認された場合、排出源特定のための調査と排出源への指導
また、浄化センターの水処理、汚泥処理の対策検討
- 3 浄化センターの水質管理
日常の水質検査結果を受けた、水処理、汚泥処理等運転管理の検討

令和元年度 事業場排水の水質監視
延べ検査項目数 949 項目 うち延べ違反項目数 18 項目
延べ立入検査件数 132 件

令和元年度 幹線水質検査 12 回

< 現状に対する認識 >

事業場からの下水道排除基準に対する延べ違反項目数は、H30の9項目に対し、R1年度は延べ検査項目数949項目中18項目と増加し、適合率がやや低下した。同一事業場における再基準超過について重点的に監視を継続していくとともに、他事業場についても、下水道排除基準への意識を持ってもらうために更なる啓発活動をしていく必要がある。
また、主要幹線水質検査により異常値と考えられるケースについて、今後も充実した追跡調査の体制づくりを継続していく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	排除基準適合率(%)				
指標の設定理由	事業場における適正な排除基準の確保				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	98.3	99.0	99.1	98.1	
達成度	98.3%	99.0%	99.1%	98.1%	-
成果指標(指標名)	幹線水質検査(回/年)				
指標の設定理由	処理場流入水の良好な水質を確保するため				
目標値	12	12	12	12	12
実績値	12	12	12	12	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	21,650	21,384	21,640	20,944	24,430
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,650	21,384	21,640	20,944	24,430
人件費(千円)	41,300	人工 40,840	人工 40,700	人工 40,980	人工
正規	38,450	5	37,950	5	37,750
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950
合計コスト +	62,950	62,224	62,340	61,924	65,730
前年度比	-	98.8%	100.2%	99.3%	-